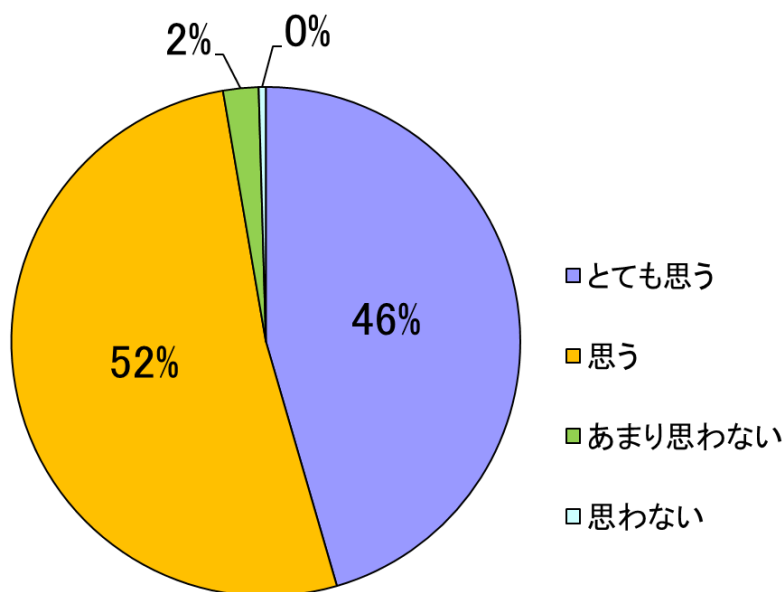


1. お子さんは、楽しく学校に通っていると思いますか。



- とても思う
- 思う
- あまり思わない
- 思わない

【令和5年度】

とても思う	46%	98%
思う	52%	

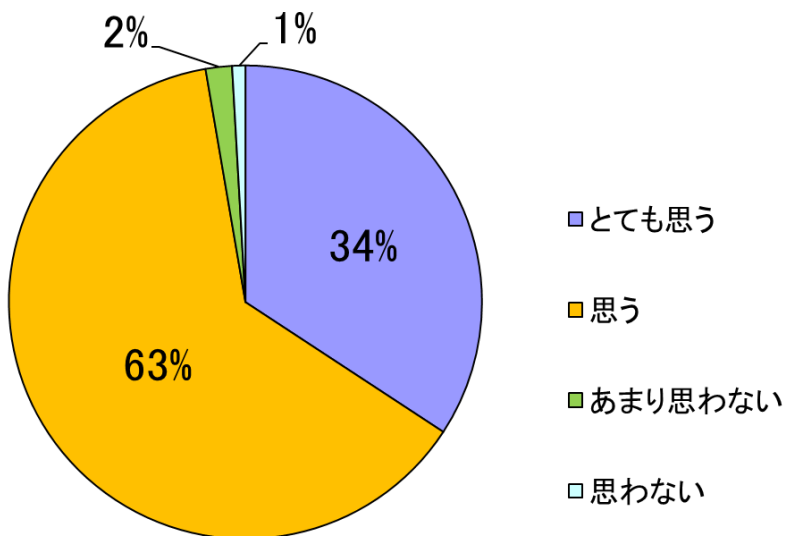
【令和4年度】

とても思う	52%	97%
思う	45%	

「とても思う」「思う」の回答は全体の98%で、昨年度とほぼ同じ割合となりました。

今年度から新型コロナウイルスが5類となり、コロナ禍で制限されてきたことがあらゆる場面ではほぼコロナ以前の状態に戻りました。その影響もあつてか、児童へのアンケート「学校は楽しいですか」の質問に対して、低・高学年共に90%を超える児童が「とても楽しい」「楽しい」と回答しました。今後も児童がさまざまな学習や経験・体験をし、「学校は楽しいところ」という気持ちをより強くもつことができるように、学校の教育活動をより充実させていく必要があると考えています。また、保護者の皆様におかれましては、これまでも学校の教育活動にご協力いただけてきましたが、今後も引き続きご理解とご協力をくださいますようお願いいたします。

2. 一人一人の思いや考えを大切にした学年・学級経営がされていると思いますか。



- とても思う
- 思う
- あまり思わない
- 思わない

【令和5年度】

とても思う	34%	97%
思う	63%	

【令和4年度】

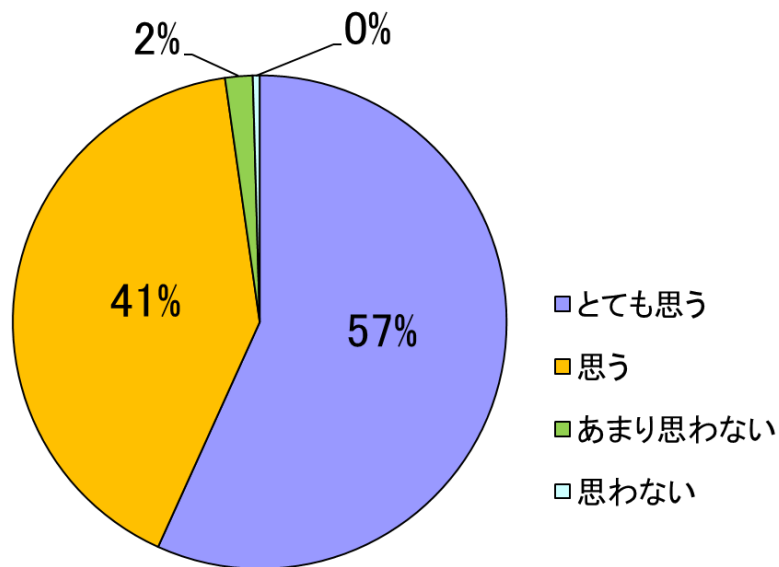
とても思う	37%	94%
思う	57%	

「とても思う」「思う」の回答は全体の97%で、昨年度より3%増加しました。

「自己肯定感を高める」という教育理念のもと、児童の思いを自由に表現したり、考えたことを友達と共有したりすることができるような授業づくりに努めています。また、授業以外でも、係活動や委員会活動、クラブ活動などさまざまな場面において、児童の自主的な活動を引き出すことができるように、児童相互でじっくり話したり、試したりする時間を確保するように努めています。

今後も、児童がのびのびと自分自身を表現することができるような場面設定を心がけていきます。

3、学年の活動、運動会、150周年記念式典など、学校全体の教育活動は、児童にとって生き生きと活躍できる場になっていると思いますか。



【令和5年度】

とも思う	57%	98%	←
思う	41%		
			1% down

【令和4年度】

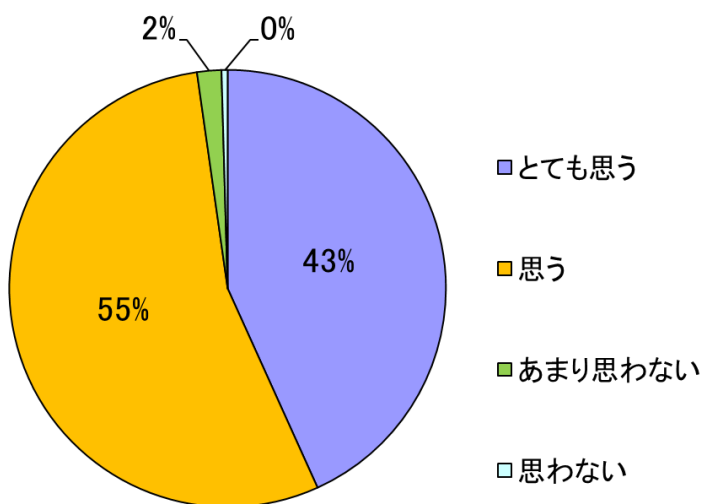
とも思う	50%	99%	←
思う	49%		

「とも思う」「思う」の回答は全体の98%で、昨年度とほぼ同じ割合となりました。とても多くの保護者の方々に「生き生きと活躍できている」と感じていただいています。

今年度は創立150周年記念式典が行われました。各学年でさまざまな取り組みを長期間にわたって行ってきました。その中で、児童がそれぞれの役割をしっかりと果たす姿は、教職員にとっても誇らしいものでした。

今後もさまざまな行事や活動の中で、児童が自分の思いをもち、それを表現していくことができるように支援していきます。

4、係活動や当番活動、実行委員活動などを通して、主体性や責任感、満足感を得られるように指導していると思いますか。



【令和5年度】

とも思う	43%	98%	←
思う	55%		
			5% up

【令和4年度】

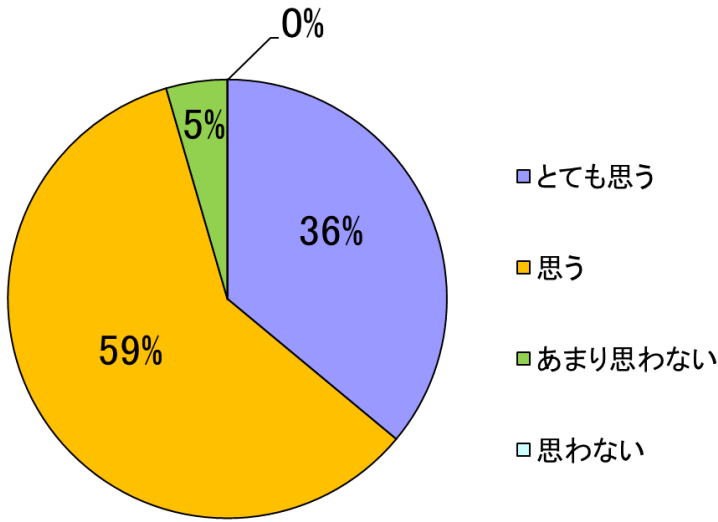
とも思う	45%	93%	←
思う	48%		

「とも思う」「思う」の回答は全体の98%で、昨年度より5%増加しました。とても多くの保護者の方々に「主体性や責任感、満足感を得られるような指導をしている」と感じていただいています。

学習場面以外においても、児童の思いや考えを大切に、自主的に活動に取り組むことができるような場を設定するように努めています。学年や学級によって取り組む活動は異なるものの、その活動を通して達成感や満足感を得られるように、学年・学級担任が発達段階に応じた指導や支援に努めています。

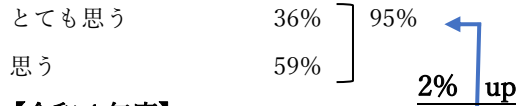
さまざまな活動を通して、児童が友達とかかわり合いながら成長していくことができるように、今後も指導・支援をしていきます。

5. 児童が体を動かす楽しさや、友達と共に活動する喜びを味わえるような指導をしていると思いますか。



- とても思う
- 思う
- あまり思わない
- 思わない

【令和5年度】



【令和4年度】

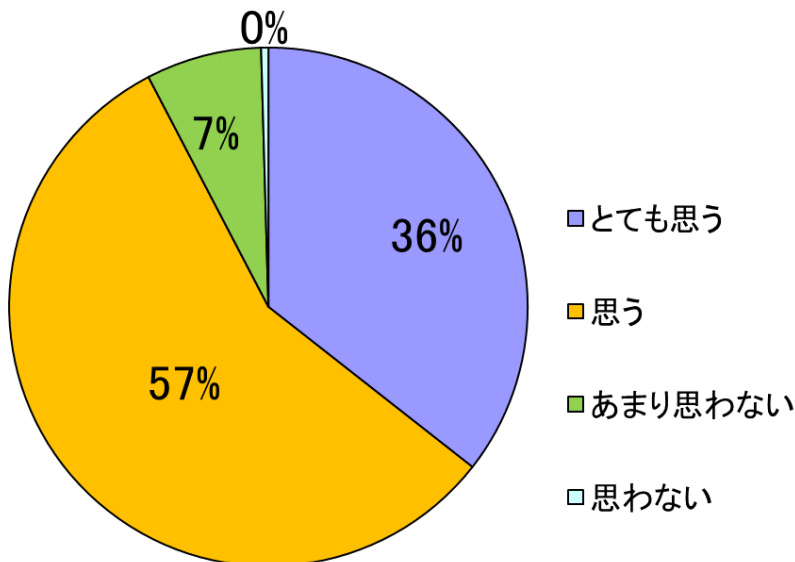


「とても思う」「思う」の回答は全体の95%で、昨年度より2%増加しました。

中休みや放課後の校庭の様子を見ると、とても多くの児童が元気に外遊びを楽しんでいる様子が見られます。また、体育の学習時にも、全力で走ったり、ボールを追いかけたりしています。今年度は、夏に異常な暑さが続き、熱中症予防の観点からやむを得ず校庭使用を中止した日も少なくありませんでした。その際には、とても残念そうにしている児童がたくさんいました。体育学習や遊びの中で「思い切り体を動かしたい」という児童がとても多いと感じました。

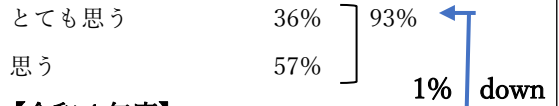
児童の「体を動かしたい」という思いを大切に、気候変動による暑さ対策をしながら、体育学習の充実や中休み等の校庭使用計画など、今後も工夫、改善していきます。

6. 児童が元気に挨拶できるような指導をしていると思いますか。

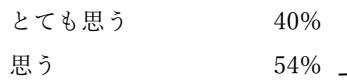


- とても思う
- 思う
- あまり思わない
- 思わない

【令和5年度】



【令和4年度】



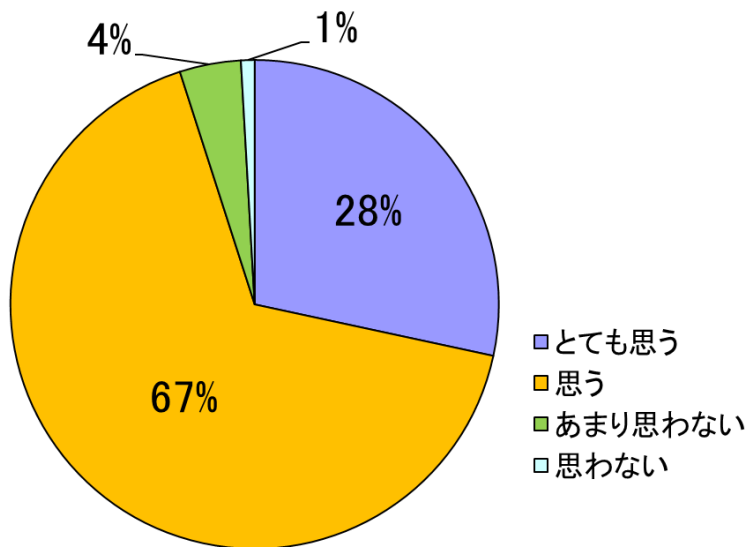
「とても思う」「思う」の回答は全体の93%で、昨年度から1%減少しているものの、ほぼ同じ割合となりました。

今年度は、5年生児童が自発的に全校児童に呼びかけた「挨拶運動」が実施されました。朝8時過ぎから、5年生が中心となりさまざまな学年の児童が校門やグリーンゾーンなどに立って「おはようございます」と挨拶をしていました。登校してくる児童が元気よく挨拶をする姿は、清々しい光景でした。

教職員も児童との挨拶を大切に、朝だけでなく日中でも「こんにちは」と児童に声をかけるようにしています。児童から先に挨拶をしてくれることも多く、挨拶することのよさが児童にも浸透しているのではないかと感じます。

学校では今後も挨拶を推進していきます。ご家庭でもぜひお子さんとの挨拶を励行していただき、挨拶することのよさについて共有していただければ幸いです。

7. 日常の教育活動を通して、児童の実態を把握し、児童理解に努めていると思いますか。



【令和5年度】

とても思う	28%	95%	↓
思う	67%		
			1% down

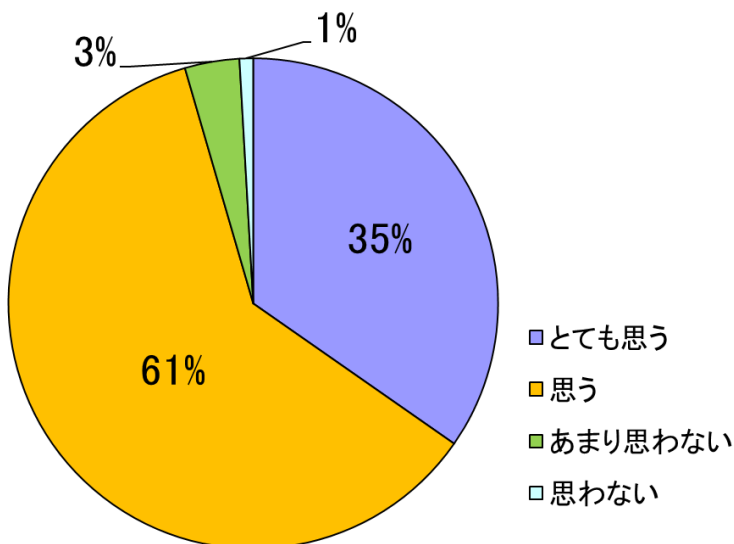
【令和4年度】

とても思う	36%	96%	↑
思う	60%		

「とても思う」「思う」の回答は全体の95%で、昨年度とほぼ同じ割合となりました。

本校では、教職員が児童と同じ目線に立ち、児童の思いや自主性を大切に児童理解に努めています。児童と教職員の良好な信頼関係を築き、全ての子どもたちが安心して学校に通うことができるようになるには、教職員が児童の様子を注視し、ちょっとした変化にも気付くことができることが大切です。さらに、保護者の皆様には、ご家庭でのお子さんの様子で何か気になることがあればすぐに学校へご連絡いただきたいと思います。今後も学校と家庭が連携し、よりよい教育活動を行っていきたいと思います。

8. 豊かな心を育てるために、積極的に道徳教育や共生教育、人権尊重教育に取り組んでいると思いますか。



【令和5年度】

とても思う	35%	96%	↑
思う	61%		
			3% up

【令和4年度】

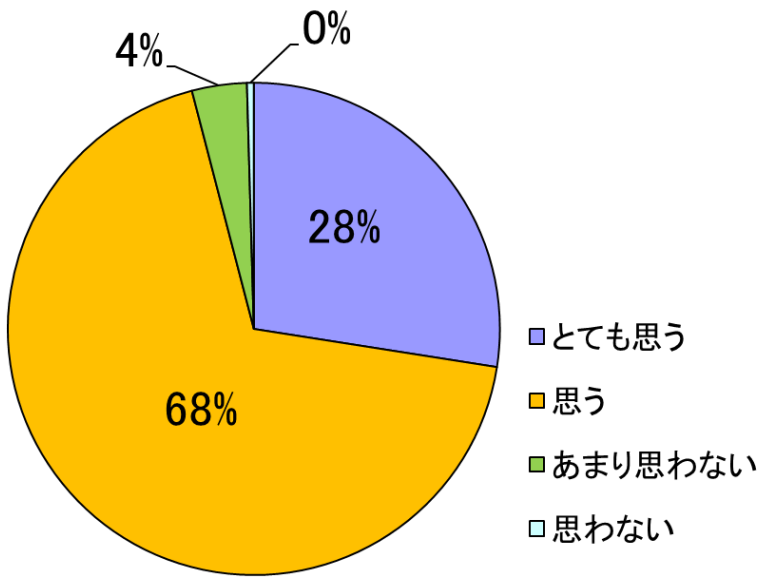
とても思う	32%	93%	↑
思う	61%		

「とても思う」「思う」の回答は全体の96%で、昨年度より3%増加しました。

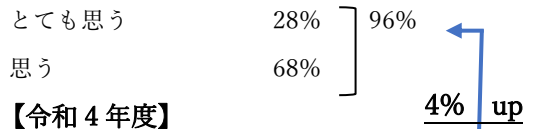
本校では児童が自分自身を見つめ、自己の生き方について考えを深めることができるように、日々の道徳の授業に力を入れています。また、学級集団における豊かな人間関係作りをめざす共生*共育プログラムの活動を定期的実践しています。

デジタル化が急速に進んでいる昨今、児童を取り巻く環境も日々変化しています。自分を大切に、他者への尊重意識ももつことができるような指導をめざしていきます。ご家庭でも、お子さんと共に考えていただければ幸いです。

9. 児童が約束を守って生活するような指導がされていると思いますか。



【令和5年度】



【令和4年度】

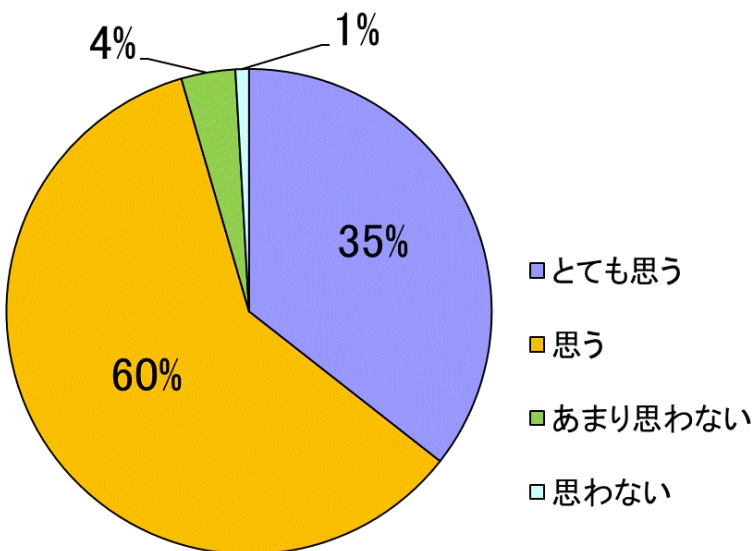


「とても思う」「思う」の回答は全体の96%でしたが、最上位回答「とても思う」は昨年度より20%減少する結果となりました。

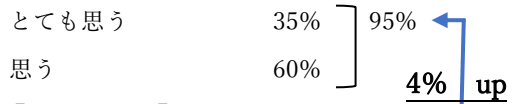
本校では、「柿生小の約束」として、学校生活におけるさまざまな場面での約束事を決め、指導しています。その際、「なぜその約束があるか」「約束を守るとどんなよいことがあるか」なども併せて指導するように心がけています。

保護者の皆様にも、懇談会や面談、お便り等を通してお伝えしていくことをご理解とご協力をいただけるように努めていきます。また、ご家庭でも、約束やルールを守ることの意義についてお子さんとお話しいただければ幸いです。

10. 学校の教職員は、お子さんについて困った時に相談できると思いますか。



【令和5年度】



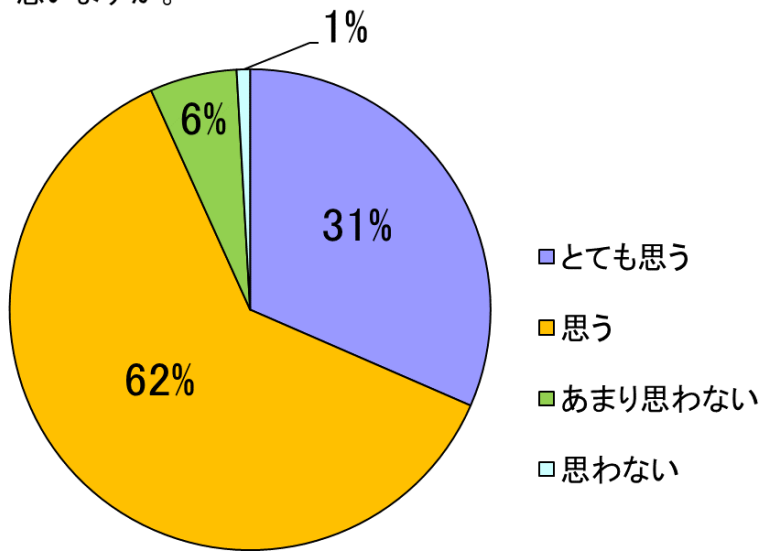
【令和4年度】



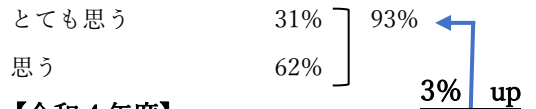
「とても思う」「思う」の回答は全体の95%で、昨年度より4%増加しました。

本校では、「ソナーで探知」を合言葉に、児童に悩みや困りがあり、助けを求めるサインを待つのではなく、こちらから様子の変化を探して気付くことができるように努めています。しかし、児童の悩みや困りのすべてに気付くことは難しいことです。児童の少しの変化にも気付くことができるように、常に目を向け、児童の成長をプラスに価値付けていくことで信頼関係を築くことが大切であると感じます。今後も児童との信頼関係を築き、悩みや困りを迅速に解決することができるように努めます。また、お子さんがより安心して学校に通うことができるように、保護者の皆様との連絡を密にして協力体制を整えていきたいと思っておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

11. 児童が悩みを抱えていたり、児童同士で問題が起きたりした時に、解決に向けて積極的に対応できていると思いますか。



【令和5年度】



【令和4年度】

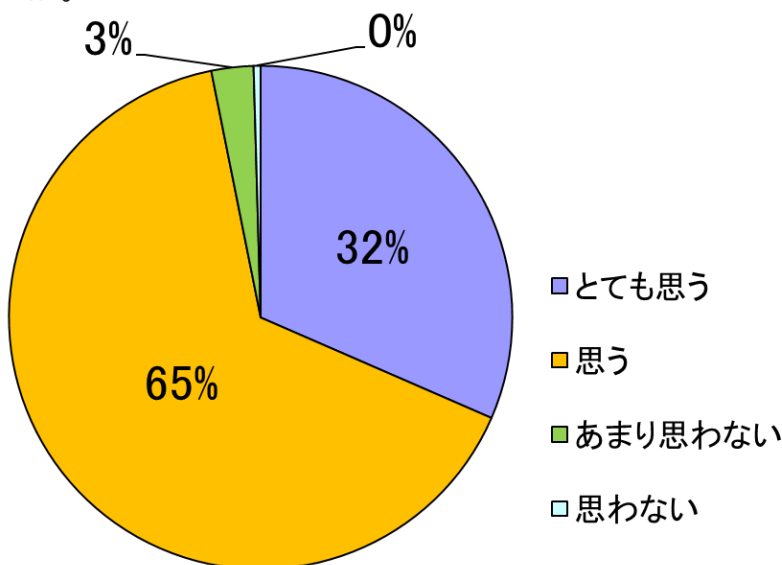


「とても思う」「思う」の回答は全体の 93%で、昨年度より 3%増加しました。

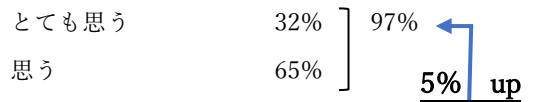
児童指導は、早期発見が最重要となります。本校では、児童の悩みや困りを発見したり、トラブルが発生したりした時には、担任から学年担任全体への報告、支援教育コーディネーターへの報告、そして管理職への報告を原則としています。担任だけでなく、チームとして早期に問題を解決できるように努めています。また、児童への綿密な聞き取りや保護者の方への報告についても、チームとして対応するようにしています。

問題が起こらないことが一番ですが、もし起こってしまった時には、今後も学校全体でその解決に向けて対応していきます。保護者の皆様にも、ご家庭でお子さんについて気になる様子が見られた際には学校にご連絡いただき、解決に向けてご協力いただきますようお願いいたします。

12. 学力の基礎基本の定着を図るために、児童が楽しく積極的に学習に取り組める授業をしていると思いますか。



【令和5年度】



【令和4年度】

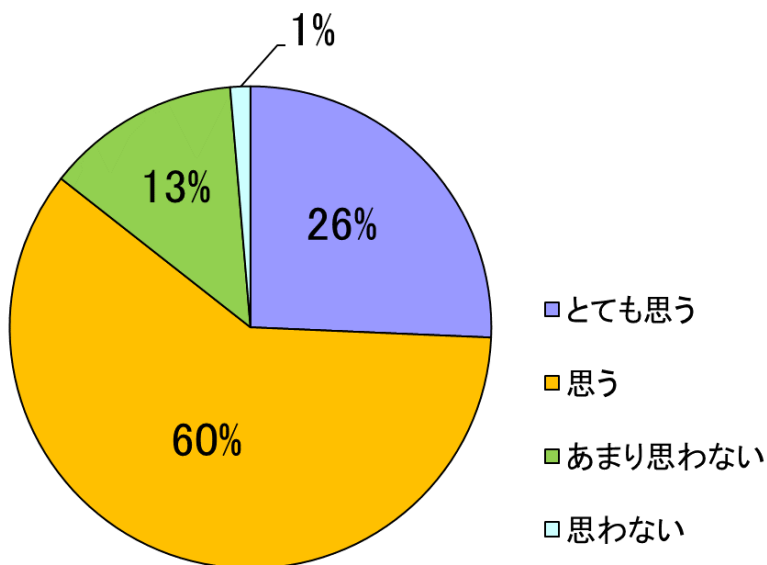


「とても思う」「思う」の回答は全体の 97%で、昨年度より 5%増加しました。

児童が学習場面において「楽しい」と感じるには、「わかった」「できた」という達成感を味わうことが大切です。そのためには、学習の中に「課題設定」が必要であると考えています。児童が課題をもち、それを解決するために試行錯誤し、友達や教師と意見を交換しながら自分の考えを深めていく、というプロセスが重要です。それを経て「わかった」「できた」を得ることが「楽しさ」につながり、次への意欲につながります。

この学習の流れを確立するためには、教師の授業力向上が最重要であると考えています。そのため、日々研修を行い、理論構築をしたり、教材研究をしたりしています。今後も研鑽を積みながら、よりよい授業づくりに努めていきます。

13. 個に応じたきめ細かな支援が行われていると思いますか。



【令和5年度】

とても思う	26%	86%
思う	60%	

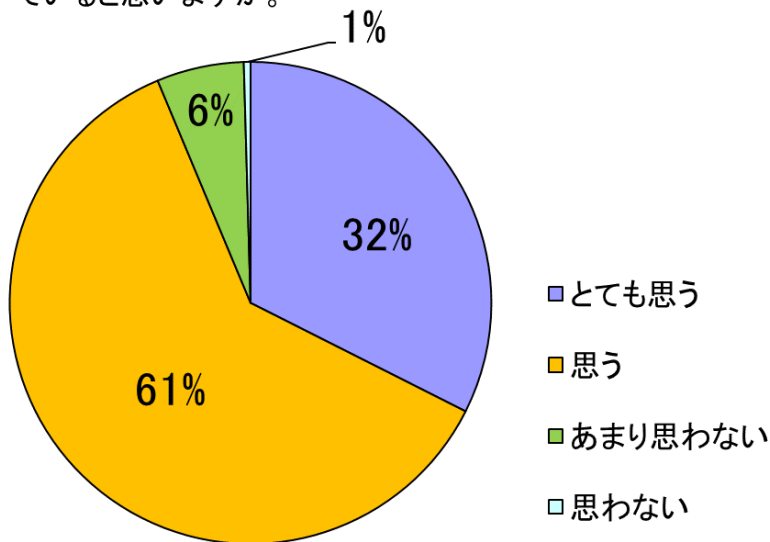
【令和4年度】

とても思う	42%	93%
思う	51%	

「とても思う」「思う」の回答は全体の86%で、昨年度より7%減少しました。また、最上位回答「とても思う」につきましては16%も減少してしまいました。

学習場面においては、日々の授業の中で全体指導の場面と、児童それぞれの習熟度や到達度に合わせた個別指導の場면을適宜使い分けながら進めるようにしています。また、学習以外の場面でも、児童の思いや考えを大切にされた指導や支援をするように努めています。今回のアンケート結果を受けて、すべての児童の実態に合わせた支援をさらに推進していきます。教職員一同、今後もより一層児童の個性や思い、考えに寄り添い、児童が学校生活を安心して楽しむことができるように尽力していきます。

14. ボランティアやゲストティーチャーなどの人材を生かしたり、体験活動を行ったりするなど、教育活動を工夫していると思いますか。



【令和5年度】

とても思う	32%	93%
思う	61%	

【令和4年度】

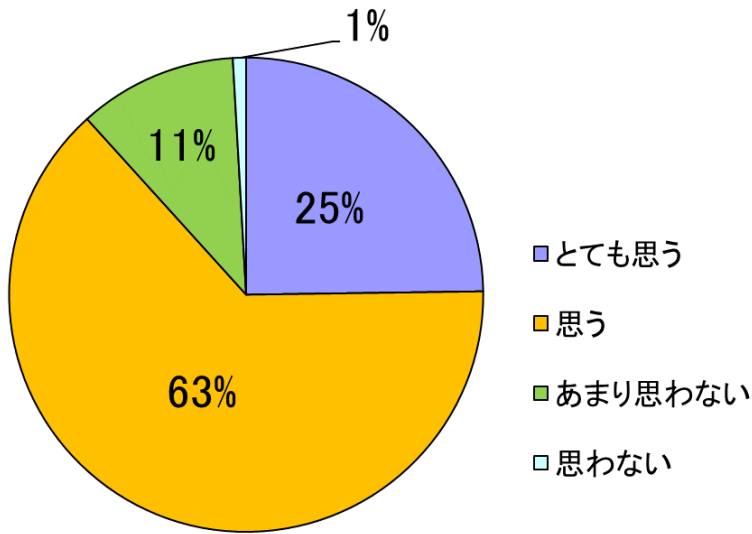
とても思う	34%	93%
思う	59%	

「とても思う」「思う」の回答は全体の93%で、昨年度と同じ割合となりました。

本校では、各学年においてさまざまな場面で体験学習を取り入れています。その際、その道のプロや詳しい方々に話をうかがったり、実演していただいたりすることは、児童にとって大変有意義な学習となります。また、保護者の皆様におかれましては、学習のあらゆる場面においてたくさんの方々にボランティアとしてお手伝いいただきました。さらには、保護者の方にゲストティーチャーとしてご協力いただくなど、児童のより充実した学びを支えていただきました。

保護者の皆様や地域の皆様には、今後も引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

15. 「自己肯定感を高め、自らの手で未来を切り拓く子の育成」という教育理念のもと、一人一人の個性に合わせた教育活動をしていると思いますか。



【令和5年度】

とても思う	25%	} 88%	←
思う	63%		
			3% down

【令和4年度】

とても思う	33%	} 91%	←
思う	58%		

「とても思う」「思う」の回答は全体の 88%で、昨年度より 3%の減少となりました。

今年度は、150 周年記念式典という大きな行事があり、それに向けて児童がそれぞれの役割を担って準備を進めてきました。その中で、「こうしたいな」「こうした方がいいのではないかな」などの思いをもとに、友達や教職員と話し合ったり協力したりしてきました。自分の思いが実現したり、努力が形となったりした時に、「やってよかった」と実感し、また、それを他者から称賛されることで、自己肯定感の高まりを図ることができたのではないかと思います。

子どもたちの自己肯定感を高めていくためには、まず子どもたち自身が、今の自分を認め、自分の成長や活動の成果を実感していくことが大切です。そのために結果だけでなく、そこにいたる過程を価値づけて、自分自身の力で問題を解決していく力を身に付けていけるような授業、教育活動を今後も大切にしていきたいと思っています。